

13 吉奈 船原遊歩道

よしな ふなばら

吉奈温泉は奈良時代に行基上人が発見したという伊豆でも古い温泉地である。泉質はよく暖まるといって「硝泉で子玉の湯」として特に有名。修善寺駅から湯ヶ島温泉行き、昭和の森会館行き、河津駅行きのバスで21〜23分、吉奈温泉口で下車。吉奈温泉まで入るバスの便もあるが極めて少ない。

小森モータースの角から吉奈川に沿って車道を15分弱で吉奈温泉のバス停。すぐ先の吉奈郵便局から右へ曲がり神龜橋を渡って道なりに上ると湯之宮神社の前に出る。石段、またはジグザグと女坂を上がってお参りしよう。神龜元年(724)に行基上人が創建したと伝わる古社で多門天・持国天などの宝仏があるというが、拝観はできない。

隣りが善名寺(日蓮宗)。神龜元年行基上人が建立した寺で、当時は七堂伽藍を連ねた巨刹であったが、後の大水で流失・大火で焼失し、現在の建物は天正10年に再建。寺宝として行基作と伝わる本尊の木造薬師如来坐像(県指定文化財)ほか木造釈迦如来坐像(市指定文化財)・毘沙門天などの古仏像や、県指定の文化財「青銅仏餉鉢」などがある。仏餉鉢は口径20.9cm、高

さ8.2cmの鉢鉢用の鉢で青銅製としては日本で一番目に古いものとされている。仏像の拝観は寺に頼めば可能(志納)。徳川家康の側室お万の方が吉奈温泉に入浴し、この寺に子玉祈願に訪れたところ、無事、紀伊大納言頼宣と水戸中納言頼房を生んだという。頼房は後の水戸光圀(テレビでおなじみの水戸黄門)の父にあたる人である。今でも「子授け守り」や「安産守り」を求め子授け祈願に訪れる参拝者は絶えない。



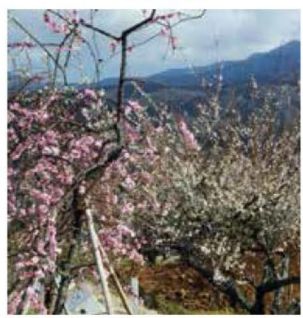
▲善名寺

寺の前からカエテが植栽された広い道を吉奈川沿いに緩やかに行くのと右に遊歩道案内板がある。スキ・ヒノキの人工林から上るに従い小さ

二つの温泉地を結ぶかつての生活道 伊豆一の広さを誇る月ヶ瀬梅林

な沢沿いの灌木林となり、この沢を渡って大きく右・左にカーブしながら上る。展望のない樹林帯を抜けるなど林道に出る。かつての道しるべとして明治27年7月1日建立の石柱「右ハ吉奈道 左ハ月ヶ瀬道」が立っている。吉奈温泉0.8km、船原温泉1.3kmの道標もある。

月ヶ瀬梅林までは片道20分くらいなので往復しよう。起伏の少ない林道をしばらく行くところが開け、シカ除けの大きなゲートがある。自由に出入りできるが、シカの食害からワメを守るためのものであるので開けたら必ず閉めることを忘れず



▲月ヶ瀬梅林

林道を石柱のある所まで戻り、そのまま少し行くと、また石柱がある。前の石柱と同じ時に立てられたもので「右ハ船原道 左ハ山道」とある。右に灌木の中に入ると下り。左に枝道を見て人工林の中をぐんぐんと下る。下る程に急になり、ジグザグと丸太の段が続いていく。下り切ると広い道に出る。右に少し行くと左手の草原に入口にあったものと同じ案内板がある。車道を左に道なりに歩き船原川にかかる湯端橋を渡れば船原温泉のバス停だ。汗をかいたら近くに白帰りの温泉宿泊施設があるのでひと風呂浴びて帰るのもいい。

コースタイム(参考) 所要時間: 約2時間35分

修善寺駅	バス	21分	船原温泉	5分	吉奈分岐	45分	遊歩道入口	15分	吉奈温泉	15分	吉奈温泉口	バス	23分	修善寺駅



▲道しるべ



▲月ヶ瀬梅林のスイセン畑